

インタラクティブ大学院教育 短期国内留学報告書

理学研究科 高分子科学専攻 旧足立研究室M1 里川 雄一

派遣先：信州大学大学院総合工学系研究科 英研究室

期間：2006 年 7 月 24 日～27 日

高分子科学専攻の「インタラクティブ大学院教育」の一環として、信州大学の英研究室に、四日間の日程でお世話になりました。英研究室は有機ゲル化剤の開発で有名な研究室です。このゲル化剤により形成される有機ゲルの物性について我々の研究室で研究しているご縁で、英研究室に留学させていただくことになりました。

今回の留学の目的は、「有機ゲル化剤の合成手法の習得」です。実際には研究室の学生の方の指導の下、四日間をかけて一つのゲル化剤分子を合成しました。初日に合成計画を立て、二日目から最終日にかけて合成および精製を行い、最終日に実際に溶媒に溶かして簡単なゲル化のテストを行いました。四日間という日程は、物質の合成をするには余りに短いものではありましたが、普段の研究室生活では得がたい貴重な経験をさせていただきました。

私の研究テーマは高分子電解質水溶液の誘電緩和挙動です。試料は購入したものや他の人に合成してもらったものを使っており、自ら合成することはほとんどありません。しかし目的とする試料が手に入らない場合、自分の手で合成する必要があります。そのような時、今回の経験が役に立つものと思います。

最後になりましたが、英先生を始めとして研究室の皆さんには温かく受け入れていただき、快く実験させていただいたこと、心より感謝いたします。またこのような貴重な機会を提供していただいたインタラクティブプログラム、そしてお力添えくださった皆様に感謝いたします。